

令和4年度奈良支部 保険者機能強化予算について

(1) 保険者機能強化予算事業

保険者機能強化予算設置の背景

- ✓ 高齢化の進展を見据えた社会保障費節減という観点、健康づくりに対する国民の関心の高まり等も背景に、**各保険者には、医療費の適正化や加入者の健康増進を図ること等がこれまで以上に期待**されている。
- ✓ 協会けんぽは47都道府県全てに支部を持ち、**地域の実情に応じたきめ細やかな取り組みを展開できることが最大の強み**である。
- ✓ **各支部が地域性を踏まえた独自の取り組みを意欲的に行うことで、基盤的保険者機能や戦略的保険者機能を一層発揮**できるよう、令和元年度より支部保険者機能強化予算が創設された。
- ✓ 協会は「加入者及び事業主の皆様の意見に基づく自主自律の運営」を基本コンセプトとしている。
- ✓ 支部の保険者機能を発揮するために何が必要なのか、費用対効果はどうなのかなど、**支部評議会(加入者等の代表)の意見も踏まえながら検討**することが必要となる。

奈良支部の令和4年度保険者機能強化予算の予算枠

支部医療費適正化等予算 → 10,259,000円(令和3年度と同額)

予算の算出基準: 協会けんぽ全体予算8億円を、全支部一律に定額部分600万円を設定した上で、残りを加入者数で按分し加算

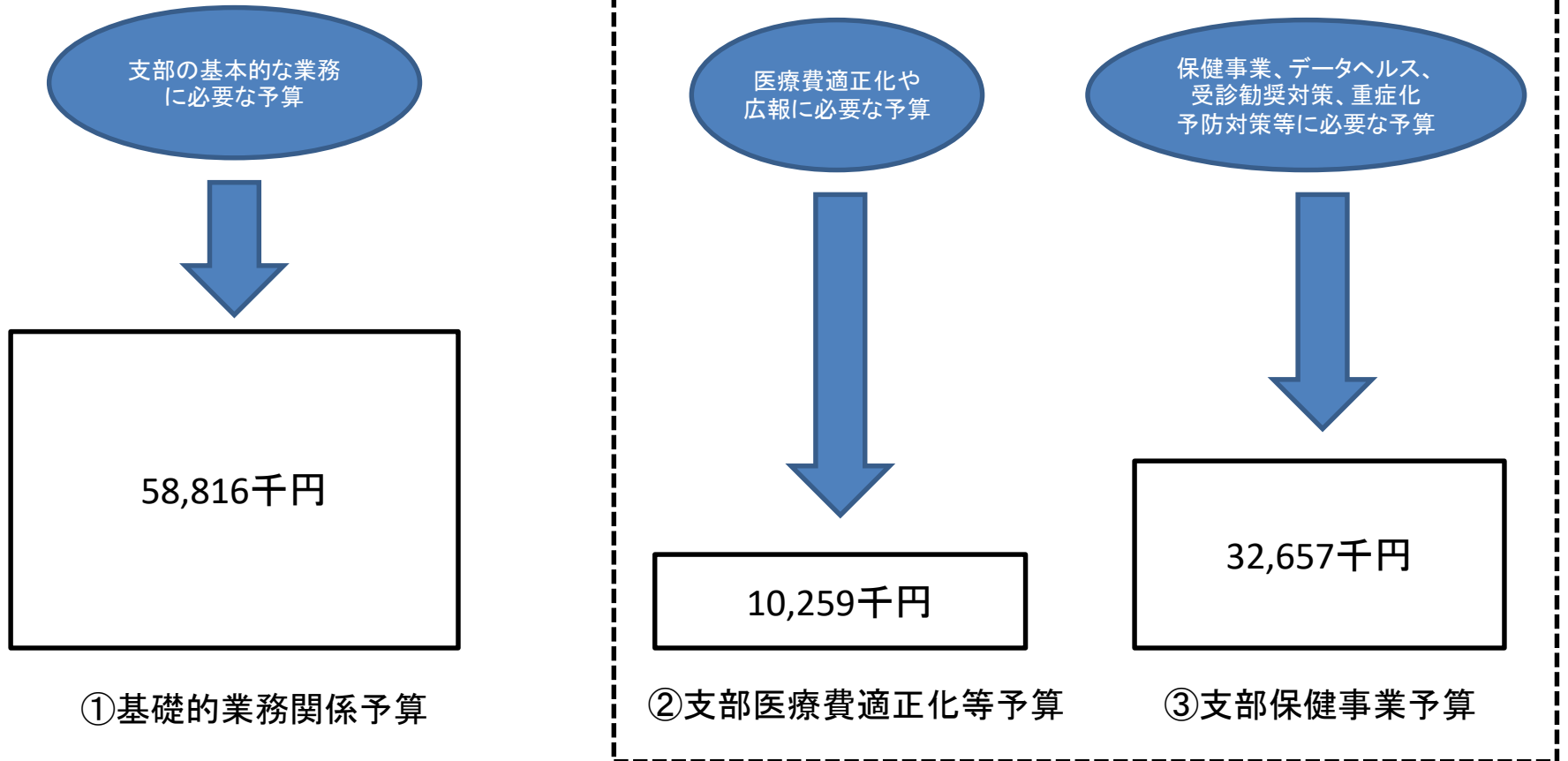
支部保健事業予算 → 32,657,000円(令和3年度と同額)

予算の算出基準: 協会けんぽ全体予算40億円を、40歳以上の加入者数で按分

(2) 奈良支部予算の全体像(イメージ図)

【令和4年度の全体予算:101,732千円】

保険者機能強化予算



(注) 図中の「①基礎的業務関係予算」の額は令和3年度予算と同額を見込んでいますが、変更となる可能性があります。

(3) 奈良支部の課題に対する主な対策

課題		
1	健康経営の更なる推進	「職場まるごと健康宣言」(令和2年スタート)事業所の増加と、宣言事業所へのサポート
2	健診受診率が低い	特に生活習慣病予防健診の受診率が45.8%(42位)と低い。
3	ジェネリック医薬品の使用率が低い	全国ワースト2位。大規模医療機関の使用率が低く、院内処方率が高い。
4	協会事業に関する理解度が低い	インセンティブ制度について十分に周知できていない。

	項目	令和4年度の対策(案)
1	健康経営の更なる推進	健康宣言事業所数及び健康経営優良法人認定事業所の増加に向け、 自治体や関係団体と連携 し、地域とともに健康経営を普及させていきたいと考えております。また、 広報の強化 や健康経営優良法人認定に向けたサポートとして 申請書類のアドバイス などを積極的に実施したいと考えております。
2	健診受診率向上	生活習慣病予防健診の3年連続未受診者の分析(県立医大の助言)を行った結果、事業者健診の受診者が多く、切り替えには事業主の理解が必要であり、引き続き、事業所への勧奨を行いたいと考えております。 一方、事業者健診データ取得に力を入れ、トップセールスによる勧奨と 外部委託による勧奨及び紙媒体による提供 も積極的に実施したいと考えております。
3	ジェネリック医薬品使用促進	使用促進に向けたタイムリーな広報と加入者に広く現状を知っていただくための広報を引き続き着実に実施したいと考えております。医療機関訪問については、 トップセールスによる大規模病院訪問 、支部職員による 病院・薬局訪問を継続して実施 したいと考えております。
4	協会事業への理解度向上 (インセンティブ制度の周知)	評価項目の成績を上げるには、加入者の協力が不可欠であり、加入者がこうすれば保険料率が下がるということをしっかりとお知らせする必要があります。 事業主や健康保険委員等に対して ポスター・ホームページ・定期広報物などを活用 し、広報を実施したいと考えております。

(4-1) 令和4年度支部保険者機能強化予算による事業の概要

(単位:千円)

項目		令和3年度予算	令和4年度予算	備考
	①関係先と連携した残薬調整運動	88	88	継続
	②ジェネリック使用促進セミナー	325	288	継続
	③医師会と連携した「かかりつけ医」推進啓発活動	418	363	継続
	④市町村及び関係団体と連携した健康推進事業	0	506	新規
	⑤抗菌薬等適正使用における医療費適正化	361	0	廃止
企画部門経費		1,192	1,245	
	①「協会けんぽなら健康だより(納入告知書同封)」の発行	1,056	1,056	継続
	②任意継続申請セットの作成	550	550	継続
	③限度額適用認定申請セットの作成	495	495	継続
	④インセンティブ制度周知広報	1,540	550	縮小
	⑤「県民だより」による奈良支部事業の周知広報	0	1,353	新規
	⑥総合パンフレット(協会けんぽのしおり)の作成	660	0	廃止
	⑦ジェネリック医薬品に関する周知(封筒作成)	286	0	廃止
	⑧協会けんぽからのお知らせ(マンガでわかる健康保険)	220	0	廃止
紙媒体による広報経費		4,807	4,004	

(4-2) 令和4年度支部保険者機能強化予算による事業の概要

(単位:千円)

項目	令和3年度予算	令和4年度予算	備考
①ジェネリック医薬品使用促進に関するバス広告(デジタルサイネージ)	1,109	919	継続
②地元紙への広告掲載	880	880	継続
③近鉄の駅構内におけるジェネリック医薬品使用推進看板の設置	306	339	継続
④奈良支部イメージキャラクター「ヘルシカくん」新ポーズイラスト作成	110	110	継続
⑤ジェネリック医薬品使用促進インストリーム広告(加入者向け)	1,650	1,650	継続
⑥地元TVによる各事業の普及啓発	0	1,100	新規
⑦プレスリリース等における外部発信の強化(外部委託費)	198	0	廃止
その他の広報経費	4,253	4,998	
医療費適正化等予算 10,259千円	10,252	10,247	

(4-3) 令和4年度支部保険者機能強化予算による事の概要

(単位:千円)

項目		令和3年度予算	令和4年度予算	備考
	①「職場まるごと健康宣言」普及促進ツール作成	2,591	2,305	縮小
	②健康講座	1,650	1,980	強化
	③健康経営普及セミナー	325	501	強化
	④保健事業計画アドバイザー契約	164	164	継続
	⑤「職場まるごと健康宣言」普及(奈良TV等による広報)	1,995	0	廃止
コラボヘルス経費		6,725	4,950	

項目		令和3年度予算	令和4年度予算	備考
	①健診機関実地調査費用	12	12	継続
	②事業者健診委任状取得費(健診機関)	110	88	継続
	③事業者健診データ作成費(事業所)	385	385	継続
	④事業者健診結果データ取得に係る外部委託	1,539	6,380	強化
	⑤協会主催の被扶養者向け集団健診	6,670	6,340	継続
	⑥健診推進経費	1,871	1,646	継続
	⑦生活習慣病予防健診未受診者への勧奨	3,691	2,812	縮小
	⑧被保険者の要因別に基づいた健診受診向上対策(分析・調査)	990	0	廃止
	⑨事業者健診HbA1c追加検査費	251	0	廃止
健診経費		15,519	17,663	

(4-4) 令和4年度支部保険者機能強化予算による事業の概要

(単位:千円)

項目		令和3年度予算	令和4年度予算	備考
	①特定保健指導中間評価時の血液検査費	396	792	強化
	②保健指導用等雑費	1,430	1,083	縮小
	③保健指導推進経費	297	297	継続
	④特定保健指導受診勧奨	440	0	廃止
保健指導経費		2,563	2,172	
	①レッドカード事業	330	275	縮小
	②未治療者に対する受診勧奨に係る外部委託	0	1,107	新規
	③糖尿病性腎症経費	4,290	4,290	継続
	④その他重症化予防経費(COPD啓発及び禁煙外来受診啓発)	2,680	1,650	縮小
	⑤歯科医師会と連携した口腔ケア普及事業	550	550	継続
重症化予防経費		7,850	7,872	
保健事業予算 32,657千円		32,657	32,657	

(5-2) 令和4年度支部保険者機能強化予算において廃止(変更)した事業

(単位:千円)

項目		金額	備考
	①抗菌薬等の適正使用における医療費適正化 令和3年度の計画当初では、抗菌薬等に関するセミナーの開催や、適正使用の啓発リーフレットの作成等を見込んでいたが、医師会との調整の中で、「医師の処方に関わることなので容易ではない」となり計画を変更した。 今後は、医師会に抗菌薬等の使用状況などの情報提供を行う予定(費用不要)。加入者向け広報も、定期的な広報物の中で周知を図っていく。	361	廃止
企画部門経費		361	
	①総合パンフレット(協会けんぽのしおり)の作成 令和4年度から、本部が統一版のパンフレットを作成するため支部での作成は廃止とした。	660	廃止
	②協会けんぽからのお知らせ(マンガでわかる健康保険) 令和3年度に作成した在庫があるため、令和4年も引き続き使用する。	220	廃止
	③ジェネリック医薬品に関する周知(封筒作成) 令和3年度に作成した在庫があるため、令和4年も引き続き使用する。	286	廃止
紙媒体による広報経費		1,166	
	①プレスリリース等における外部発信の強化(外部委託費) 令和3年度の実施を参考にして、令和4年度は内製化する。	198	廃止
その他の広報経費		198	
医療費適正化等予算 事業廃止合計額		1,364	

(5-2) 令和4年度支部保険者機能強化予算において廃止(変更)した事業

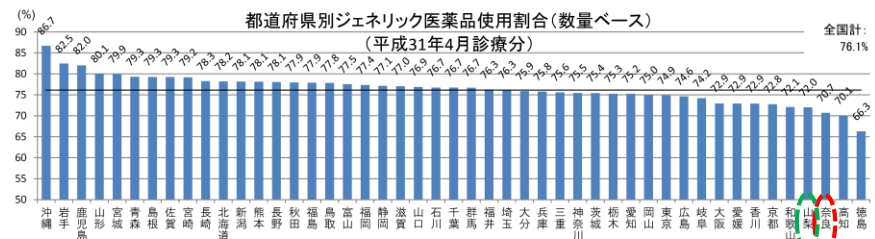
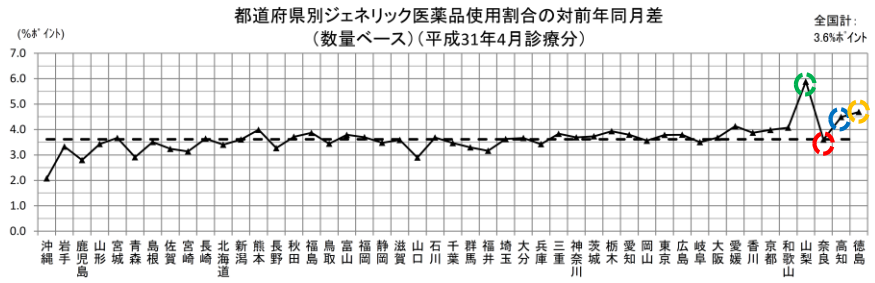
(単位:千円)

項目		金額	備考
	①「職場まるごと健康宣言」普及(奈良TV等による広報) 奈良TV等での「職場まるごと健康宣言」の普及に予算計上しており、そのうち1,100千円を執行する予定。 令和4年度は、「奈良支部の各事業に係る普及啓発」(その他の広報)に令和3年度実績分を予算計上。	1,995	予算科目変更 (予算縮小)
コラボヘルス経費		1,995	

項目		金額	備考
	①被保険者の要因別に基づいた健診受診向上対策(分析・調査) 令和3年度に分析は終了する予定。令和4年からは支部内で学識経験者の助言に基づき引き続き分析を行う。	990	廃止
	②事業者健診HbA1c追加検査費 特定健診の検査項目に随時血糖が認められたことから、HbA1cの追加検査が不要になったため予算も廃止。	251	廃止
健診経費		1,241	

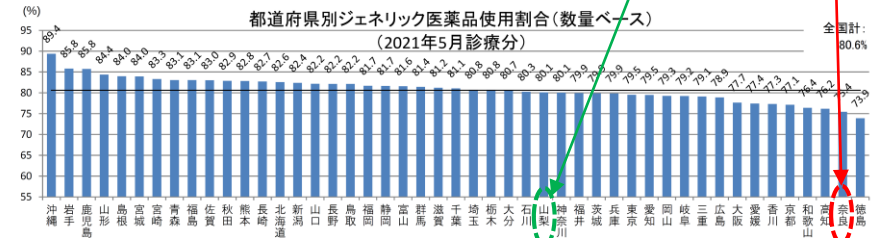
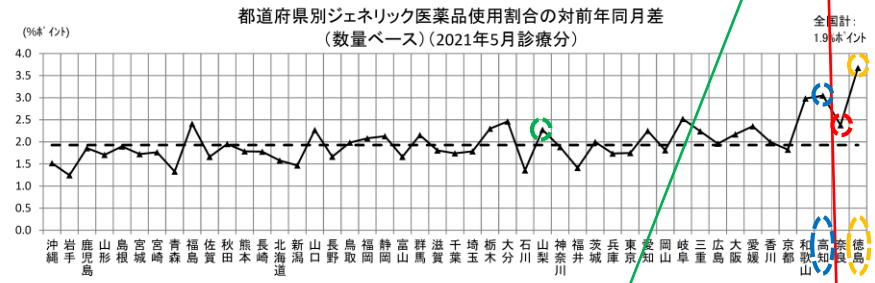
項目		金額	備考
	①特定保健指導受診勧奨 事業所に保健指導の受診勧奨(A4)ダイレクトメールを送付していたが、対象事業所には個別に「特定保健指導のご案内」を送付していることから廃止とした。	440	廃止
保健指導経費		440	
保健事業予算 事業廃止合計額		3,676	

ジェネリック使用割合 H31.4分とR3.5分の比較



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、産科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。
 注2. 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
 注3. 都道府県は、加入者が適用されている事業所所在地別に集計したものである。
 注4. [(後発医薬品の数量)÷{(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)}]で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

H31.4 から R3.5までの2年間で、山梨は44位から29位に急上昇しています。
 高知、徳島も急激に使用割合を伸ばしており、このままのペースでいくと、近いうちに奈良は最下位となります。



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、産科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。
 注2. 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
 注3. 都道府県は、加入者が適用されている事業所所在地別に集計したものである。
 注4. [(後発医薬品の数量)÷{(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)}]で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

(7) 2021.8.27

「健康経営」って 知っていますか？



主に中小企業にお勤めの方とそのご家族が加入する健康保険を運営している協会けんぽ奈良支部には田原本町の事業所約400社が加入しています。この度、協会けんぽ奈良支部と、ヘルスケアプロジェクトを通じて町民の健康づくりを推進している田原本町、そして田原本町商工会が連携して田原本の職場での健康づくり等を推進することになりました。

news

全国健康保険協会（協会けんぽ）奈良支部が
田原本町、田原本町商工会と連携し

田原本の「職場での健康づくり」を推進！

職場での健康づくりって？

「健康づくり」と聞くと、個人や家庭で取り組むものと考えられる方が多いかもしれません。しかし、近年、職場で従業員の健康づくりを行うことで、将来的に企業の収益性等を高めることができるという考えが浸透し、経営者が従業員の健康づくりへの投資を行う動き「健康経営」が全国で注目されています。



具体的にはどんなこととするの？
健診受診率100%の他に、勤務時間中にラジオ体操実施・社食をヘルシー弁当にするストレッチエグゾの実施など数多くの取り組み内容があります。
自社の状況に応じてできることから始めましょう。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

「健康経営普及促進キックオフ集会」 7月28日(水)行われました



冒頭の挨拶では、経済産業大臣政務官の佐藤啓参議院議員が原内でもスピード感を持って健康事業に取り組む田原本町を評価されました。その後、森章浩田原本町長による田原本町役場における健康宣言、町内の4事業所による健康宣言と続き、全国健康保険協会奈良支部河田光央支部長から「健康宣言の証」が授与されました。

冒頭の挨拶では、経済産業大臣政務官の佐藤啓参議院議員が原内でもスピード感を持って健康事業に取り組む田原本町を評価されました。その後、森章浩田原本町長による田原本町役場における健康宣言、町内の4事業所による健康宣言と続き、全国健康保険協会奈良支部河田光央支部長から「健康宣言の証」が授与されました。

お問い合わせ
全国健康保険協会（協会けんぽ）奈良支部
奈良市大宮町7-1の33奈良センタービル4階
☎0742-303700(代表)

まずは「健康宣言」！
健康経営に取り組むことを社内外に発信しましょう！
企業の「健康経営」の第一歩は「健康宣言」をすることです。協会けんぽ奈良支部にご加入の場合は「職場まるごと健康宣言」、奈良支部以外にご加入の場合は加入している健康保険の保険者（お持ちの健康保険証に記載されています）へお問い合わせのうえ、健康宣言を行きましょう！
職場まるごと健康宣言についてはこちら！健康経営のススメや健康経営取り組み事例集も公開しています。↓



「健康宣言」を表明

田原本町と4事業所 協会けんぽと連携協定

令和3年8月7日 奈良新聞

田原本町は7月28日、全国健康保険協会（協会けんぽ）と連携協定を結んだ。その一環として、この日は同町役場で「健康経営普及促進キックオフ集会」を実施。町と町内の4事業所が、職員や従業員の健康づくりに取り組むことを宣言した。協定締結を受けて、両者は町商工会とも連携し、同協会に加入する町内約400事業所を対象に「健康経営」への参画を促し、PR効果を高める。事業所側もイメージアップを図り、人材確保につなげていく。町と4事業所は健康診断の実施や特定保険指導の活用、健康結果に基づいた検査治療の推奨などに取り組み



田原本町長らと職員や従業員の健康づくりに取り組むことを宣言したキックオフ集会＝7月28日、田原本町役場

を実施。町と町内の4事業所が、職員や従業員の健康づくりに取り組むことを宣言した。「健康宣言」を表明した。協定締結を受けて、両者は町商工会とも連携し、同協会に加入する町内約400事業所を対象に「健康経営」への参画を促し、PR効果を高める。事業所側もイメージアップを図り、人材確保につなげていく。町と4事業所は健康診断の実施や特定保険指導の活用、健康結果に基づいた検査治療の推奨などに取り組み

ARGYLL
昭和の喫茶店
EST.1981
COFFEE & FOODS GALLERY
☎34-8995

森章浩町長は「町民の健康をサポートする事業に加え、町で働く人にも健康になっていただき、まちの魅力につなげていきたい」とあいさつ。協会けんぽ奈良支部の河田光央支部長は、「健康と安全・安心は両輪。この2つがそろってこそ従業員は意欲、能力を発揮できる。まずは環境づくりをお願いしたい」と話した。

20 26
と一 9,100円
と一 1,400円
と一 900円
と一 327,690円

